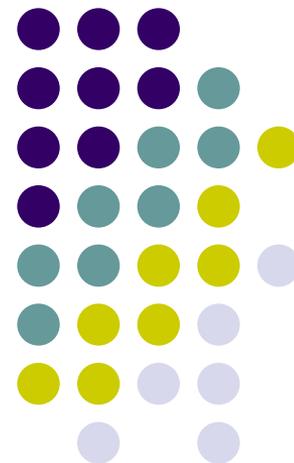


銀行とりひき相談所受付状況 (2024年9月)

2024年10月



一般社団法人 大阪銀行協会

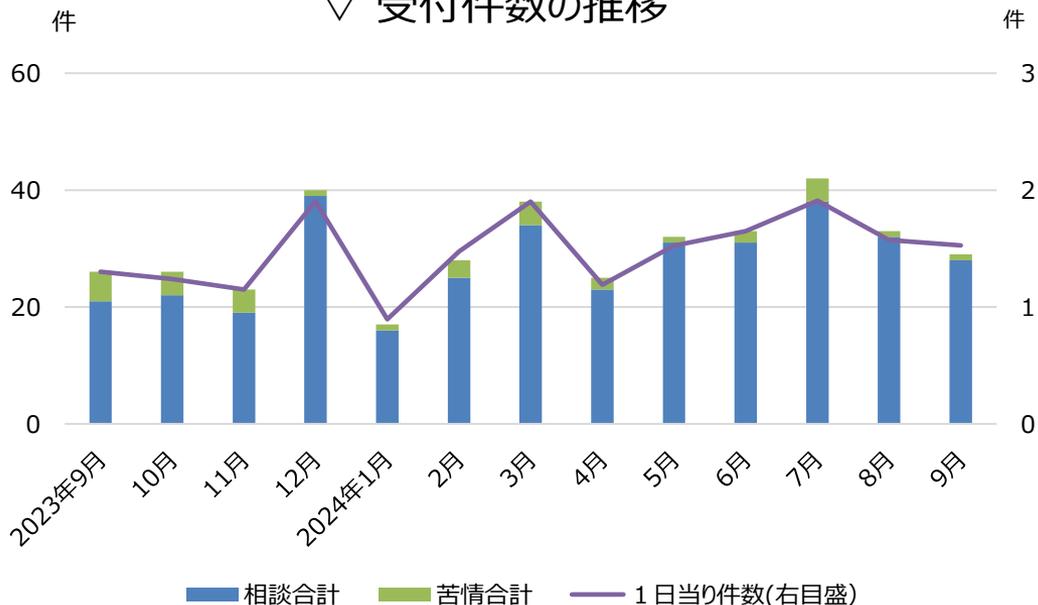
Osaka Bankers Association



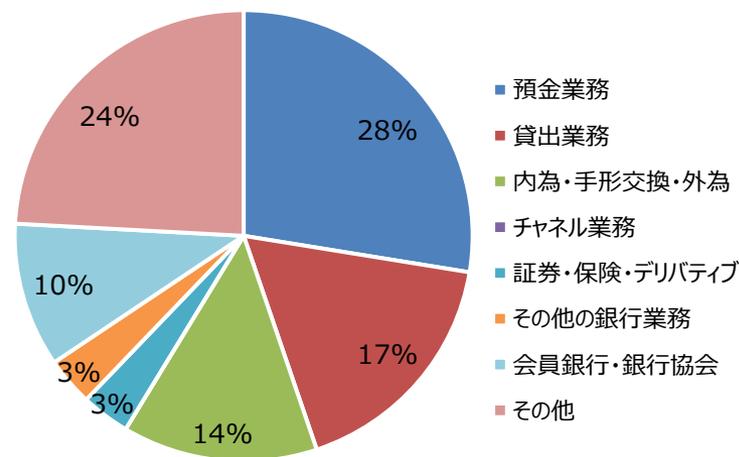
1. 受付件数の状況

- 銀行とりひき相談所における2024年9月の受付件数は29件となり、5か月振りに30件割れとなった。また、1営業日当たりでは1.5件と、1年4か月連続で2件台を下回った。
 - なお、前年同月対比では+3件の増加となる一方、前月対比では▲4件の減少。
- 受付項目別では、「預金業務」が全体の3割弱、「その他」が同2割強を占めた。
- この間、住宅ローンやカードローン等の返済に問題を抱えている消費者を対象としたカウンセリングサービスの利用はみられなかった。

▽ 受付件数の推移



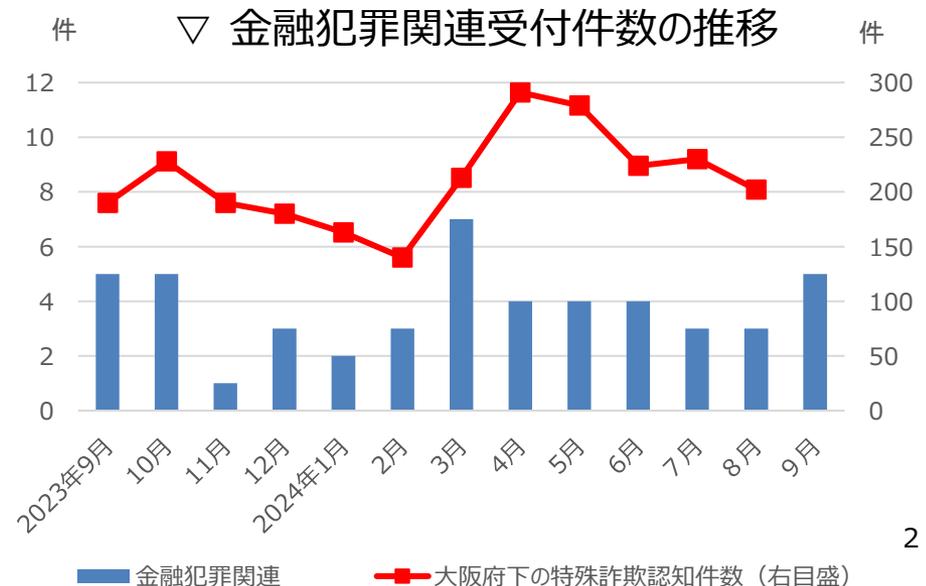
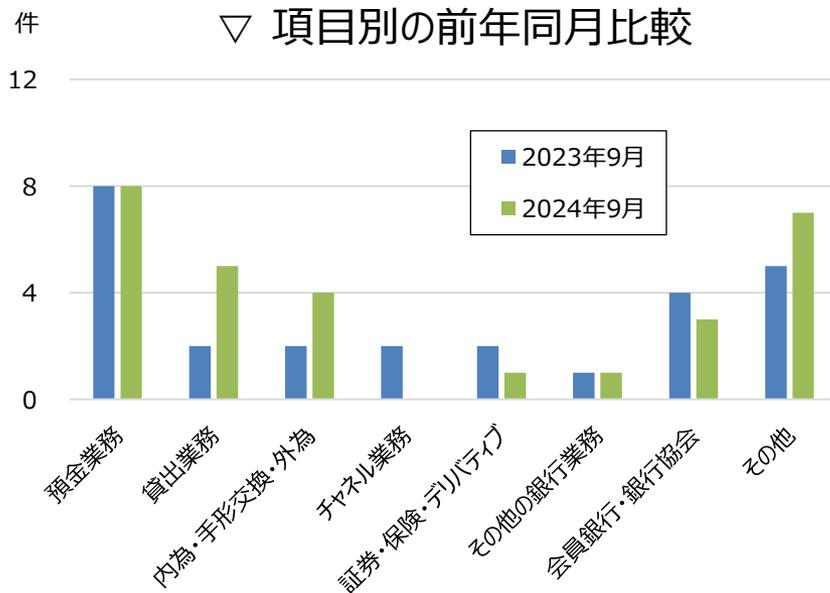
▽ 2024年9月項目別の内訳



2. 2024年9月の特徴



- 全体としては低水準のもとで、前年同月対比で+3件の増加となったのは、「貸出業務」、「内為・手形交換・外為」、「その他」の項目で前年を上回ったことによるもの。
 - このうち、「貸出業務」は、消費者ローンや事業資金、住宅ローンなど各種ローン商品に関する照会が5件みられたことなどから、前年同月比+3件の増加。
 - また、「内為・手形交換・外為」は、このところの為替相場の変動を受け、ドル・円の両替に関する照会が増加したことを主因に、同+2件の増加。
 - このほか、「その他」では、同項目に内包する「金融犯罪関連」で、特殊詐欺の相談が前年同月と同水準の5件に上る中、会員以外の金融機関に関する照会がみられたこともあって、同+2件の増加。
- なお、項目別に最も多かった「預金業務」では、日本銀行による政策金利の引き上げを受け、定期預金の優遇金利キャンペーンを展開する金融機関が生じる中、こうした先が預金保険制度の対象先かといった照会が相応にみられたことが特徴点として挙げられる。





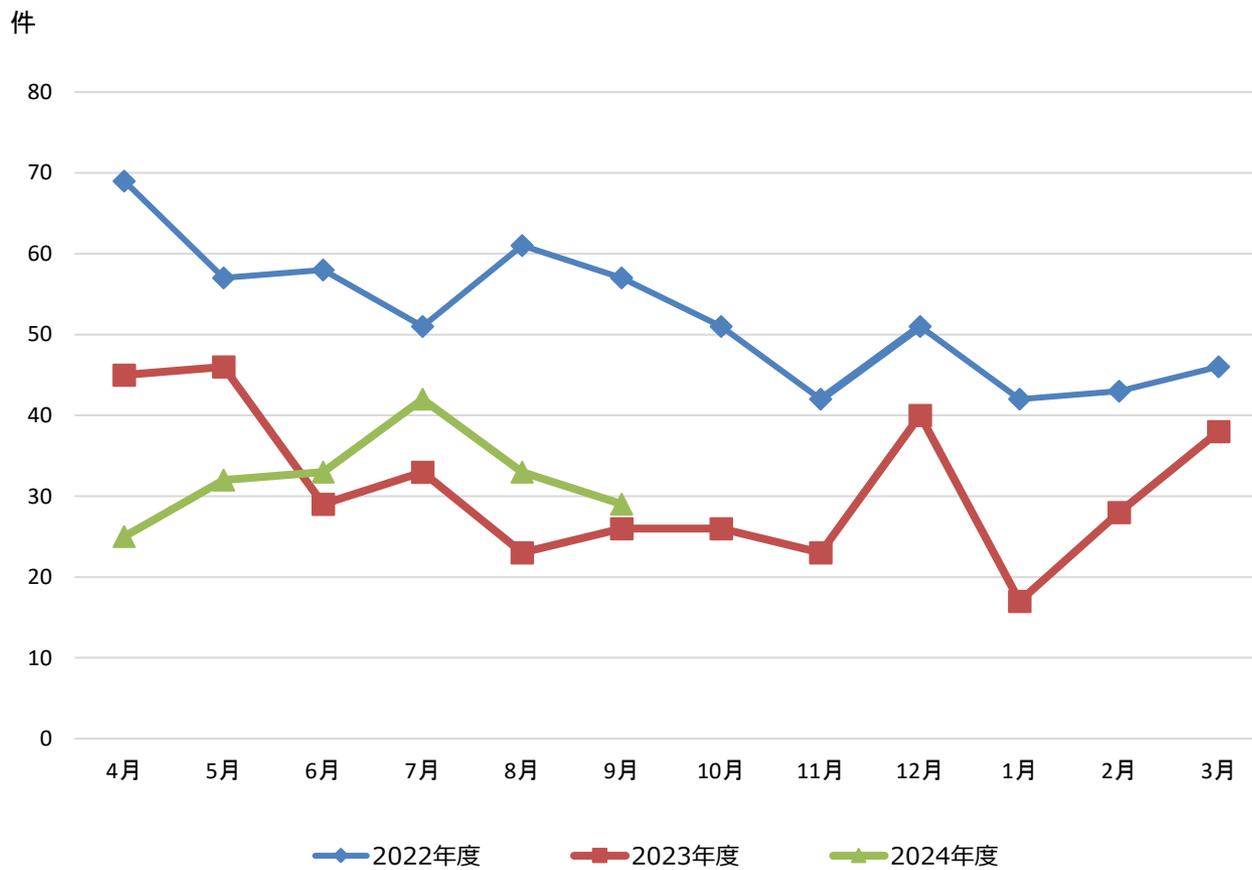
(参考 1) 銀行とりひき相談所受付件数 (2024年9月)

(単位：件)

項目	① 相談・照会		② 苦情		
		前月比	前年同月比	前月比	前年同月比
預金業務	8	▲ 1	1	0	▲ 1
(内信用不安)	4	2	3	0	0
貸出業務	4	1	2	1	0
貸出全般	0	0	0	0	0
消費者ローン	1	1	0	1	1
事業資金	1	▲ 1	1	0	0
住宅ローン	2	2	1	0	▲ 1
アパートローン	0	0	0	0	0
その他	0	▲ 1	0	0	0
内国為替業務	0	▲ 2	▲ 1	0	0
手形交換	1	1	1	0	0
外国為替業務	3	3	2	0	0
チャンネル業務	0	▲ 1	▲ 1	0	▲ 1
証券業務	1	1	0	0	0
保険業務	0	0	0	0	▲ 1
デリバティブ業務	0	0	0	0	0
その他の銀行業務	1	0	0	0	0
会員銀行	3	▲ 1	1	0	▲ 1
銀行協会	0	▲ 6	▲ 1	0	0
その他	7	1	3	0	▲ 1
(内金融犯罪関連)	5	2	1	0	▲ 1
小計	28	▲ 4	7	1	▲ 4
合計 (①+②)				29	▲ 4



(参考2) 月別受付件数の推移





銀行との取引について知りたいこと・お困りのこと
「銀行とりひき相談所」へお電話ください。

銀行とりひき相談所
06-6867-9547

- ✓ 本資料の内容について、商用目的での転載・複製を行う場合は予め大阪銀行協会までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
- ✓ 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、大阪銀行協会は、利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。